

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

平成27年度分	
基本目標	3 伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る
具体的な施策	イ ふるさとづくりの推進
	1 教会と椿のしま「五島」プロジェクト
事業名	五島列島観光周遊連携事業〈主：横断〉
担当課名	観光商工課
関係課名	所属長名 安永佳秀
事業の目的	関係自治体と連携して広域的に観光事業等に取り組み、島の文化や豊かな自然を多くの方に情報発信し、さらなる観光客誘客、地域経済の活性化、移住定住の促進を図る。
事業の内容	県内外の離島や都市と連携し、旅行関連の調査や共同PR、共同旅行商品の展開などに取り組む。
事業の実績・取組状況	○世界遺産候補の教会群の構成資産が点在する上五島と下五島を海上タクシーで周遊する個人対応型着地型旅行商品「五島列島キリシタン物語」の実施。 運航回数140回 利用者数969人（五島広域観光推進事業負担金 617千円） ○福岡市・対馬市・壱岐市・五島市・新上五島町・屋久島町による観光振興等広域連携協定締結（福岡市・九州離島広域連携協議会負担金 44,000千円 ※H28年度に全額繰り越して実施）
成果（できたこと）	世界遺産候補の教会群の構成資産が点在する上五島と下五島を個人の方でも海上タクシーで周遊することができるようになり、島の文化や豊かな自然を多くの方に情報発信することができ、交流人口の拡大及び地域経済の活性化が図られた。
課題（できなかったこと）	五島市以外との観光周遊連携が図れなかった。
担当課評価	B 五島市との観光周遊事業に取り組むことができ、多くの観光客に五島市と新上五島町を周遊していただくことができた。
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	事業を検証しながら、今後も引き続き事業に取り組むとともに、新たな周遊連携事業についても、関係自治体と検討していく。
委員評価	— 2次評価のとおり（横断分野で評価）

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

平成27年度分			
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る	
具体的な施策	イ	ふるさとづくりの推進	
	1	教会と椿のしま「五島」プロジェクト	
事業名	椿による五島列島活性化特区事業		
担当課名	農林課	所属長名	下山透
関係課名			
事業の目的	椿油の増産のみならず椿の木全てを有効に活用して地域が一体となり「椿関連産業」の活性化に取り組み、離島の活性化の起爆剤として地域に根ざした地域密着型の6次産業化を目指すことを目的としている。また、その椿実から採れる油の製品の生産増大・販路拡大を通じて、就業の機会の創出と地域活性化を図る。		
事業の内容	自生椿林整備、椿加工場建設、椿油・関連商品開発促進		
事業の実績・取組状況	自生椿林内作業道整備 2.8km 自生椿林改良 34.24ha 新上五島町つばき木工房 保管用倉庫、レーザー加工機整備 木工講習会開催 4回 木工技術振興会会員の先進地視察研修 つばき苗支給 2,777本（成人式記念、荒廃農地復旧など） などを実施 67,495千円		
成果（できたこと）	つばき林の除伐・断幹により、森林が持つ機能回復を図るとともに優良つばき林育成に繋がった。 木工技術振興会では保管用倉庫、レーザー加工機を導入し施設の充実を図るとともに、県外から講師を招聘して講習会を開催し、会員の木工技術のレベルアップが図られた。 つばき苗支給により、「日本一の椿の島づくり」を町内外にアピールできた。		
課題（できなかったこと）	耕作放棄地への苗木植栽が少なかった。		
担当課評価	C	耕作放棄地の解消が進んでいない。	
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	耕作放棄地への植樹を促進するため、高齢者でも椿実を収穫できるような整備を検討する必要がある。		
委員評価	C	2次評価のとおり	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。